平成26年分の所得申告相談を下表の日程で実施します

●申告期限は3月16日(月)です。申告は決められた巡回相談日に行ってください。

※今回の申告では日曜申告(3月15日)を行います。仕事などで平日に来られない人はぜひご利用ください。

月 日	時 間	場 所	対象地区
2月16日(月)	午前9時～午後3時	浜公民館	町中・新川・古川
2月17日(火)		福浦公民館	福浦
2月18日(水)		大泊公民館	大泊
2月19日(木)		平国コミュニティセンター	平国上・辻
2月20日(金)		平国コミュニティセンター	平国下
2月23日(月)		改善センター(和室)	浜崎・桜戸・丸岡
2月24日(火)		文化センター(会議室)	竹中
2月25日(水)		文化センター(和室)	染竹
2月26日(木)		中尾公民館	中尾
2月27日(金)		古中尾公民館	古中尾
3月2日(月)		倉谷公民館	倉谷
3月3日(火)		上下門公民館	上下門・川内
3月4日(水)		内野公民館	内野
3月5日(木)		赤崎漁村センター	日当
3月6日(金)		赤崎漁村センター	日添
3月9日(月)		小津奈木公民館	小津奈木
3月10日(火) ～13日(金)	午前9時～午後4時	津奈木町役場	全地区
3月15日(日)		改善センター(ロビー)	
3月16日(月)		津奈木町役場	

住民税申告・確定申告が始まります!

■問い合わせ 住民課税務班 TEL78-31113(内線121)
八代税務署 TEL0965-32-3141

申告期間
2月16日(月)
から
3月16日(月)

申告の時期が近づいてきました。申告期限が間近になると会場が大変混雑し、長時間かかる場合もありますので、お早めに申告を済ませるようにしてください。

確定申告とは
確定申告とは、1年間(1月1日～12月31日)に所得のあった人が所得税と復興特別所得税の額を「申告納税」すること。また、納め過ぎた所得税と復興特別所得税の「還付申告」をする税務処理のこと。原則、翌年の2月16日～3月15日に行います。

確定申告をする必要がないと言われたが住民税申告は?
確定申告は所得税の納付・還付が発生しない場合その必要はありません。しかし、住民税申告は国民健康保険税の軽減判定や所得証明の発行など、その他行政サービスに税申告の内容が必要となる場合がありますので、必ず住民税申告は行ってください。

住民税申告(町県民税)と確定申告(所得税)の違いは何ですか?
※下記比較表参照
住民税は(町県民税)は、前年の所得が確定してからその翌年に課税するものです。所得税は、前年の所得を自らが申告して納付する「確定申告」と、支

区分	町県民税	所得税
年表示	○年度…前年1月～12月末までのこと(例)平成27年度(平成26年1月1日～平成26年12月末の所得)	○年分…1月～12月末までのこと
課税	○賦課期日…毎年1月1日の居住地で前年分の所得に対して課税	○確定申告…前年分所得を翌年の申告により課税 ○源泉徴収(給与所得)…前年々々の給与からあらかじめ徴収しており、年間所得が確定してから年末調整(精算)。確定申告が必要な場合もあり。 ○源泉徴収(その他の所得)…年間の所得で所得税を計算後(源泉徴収税額を勘案)納付になれば確定申告。源泉徴収税が還付になる場合もあり。
納付	○普通徴収…決定した税額を年10回に分けて自分で納付 ○特別徴収(給与)…決定した税額を6月～翌年5月の12回に分けて給与天引き ○特別徴収(年金)…4、6、8、10、12、2月の6回に分けて年金天引き。特別徴収初年度は6月・8月は従来どおり普通徴収。10月・12月・2月は年金天引きです。	○源泉徴収(給与所得)…毎月の給与支払い時に、支払額に応じた所得税をあらかじめ徴収する。1年間の所得が確定した際に、再度所得税を計算し所得税額を確定させ、あらかじめ徴収していた所得税との差額を精算する。
税額	均等の額を負担していただく均等割と、所得金額に応じて負担していただく所得割があります。	所得金額に応じて課税されます。

給される給与・賃金・報酬などから支給額に応じた所得税を差し引く「源泉徴収」とがあります。なお、「源泉徴収」されている人のうち、給与所得者で給与所得のみの人(中途退職者を除く)は、1年間の所得が確定した際に「年末調整」により所得税を精算するのが一般的です。住民税申告(町県民税)をした場合は確定申告(税務署)をしたものとはみなされませんが、確定申告が必要な人は、税務署で申告しなければなりません。

▼申告に必要なもの
○印鑑(認印可)
○収入を証明できるもの
▽給与所得や公的年金所得の人は、源泉徴収票または給与支払者の証明書など
・事業所得の人は、収支明細書などの収入や必要経費などを確認できる書類
(平成26年1月から全ての人が記帳と帳簿書類の保存が必要です)
○所得から控除する額を確認できるもの
▽国民健康保険税や介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料、生命保険料、地震保険料(損害保険料)などの領収書または支払証明書
▽医療費控除を受ける人は、医療費の領収書や補てん金(高額医療・医療保険など)を確認できる書類
▽障害者控除を受ける人は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、障害者控除対象者認定書など
▽寄附金控除を受ける人は寄附金の領収書
※所得税の還付申告をする人は「本人名義の通帳」などをご持参ください

e-Tax(国税電子申告・納税システム)を利用してのネット申請が便利です

ネットが便利 申告・納税

- ①ネットで申告
- ②添付書類の提出省略(書類の提出または提示を求められることがあります。)
- ③還付がスピーディー
- ④確定申告期間中は24時間受付(メンテナンス時間を除きます。)

※e-Taxの利用に関しては事前準備が必要です。